

大阪府

定 数： 22 名

立候補者数： 20 名



氏名 加藤 良一

都道府県士会 大阪府

年齢 44

勤務先名称 大阪公立大学医学部附属病院



氏名 山川 智之

都道府県士会 大阪府

年齢 61

勤務先名称 南大阪病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2009～2013年	(公社)大阪府理学療法士会 財務部員
2013～2019年	(公社)大阪府理学療法士会 財務部長
2018年7月	第30回大阪府理学療法学会 事務局長
2019年7月	第31回大阪府理学療法学会 事務局長
2021年1月	第60回近畿理学療法学会 総務財務部長
2019年～	(公社)大阪府理学療法士会 理事
2020年～	(公社)日本理学療法士会 代議員

私は病院勤務かつ大阪府理学療法士会理事を務め、市民および会員への貢献に努めてきました。

私は理学療法士の力を信じています。しかし、仮に「自分の子供が理学療法士になりたい」と言った時に、迷いなく賛同できるでしょうか。「やりがいはあるけれど」と悩まれる方は少なくないかと思います。やはり理学療法士の社会的地位を高める必要があります。供給過多への対応、養成過程の見直し、給与水準の向上など課題は多いですが、理学療法士の未来に希望が見えるよう行動すべき時です。

そのために代議員としてできる2つのことがあります。

1. 協会活動の監視－内向きの論理で物事が決められていないか監視し、未来志向で市民や会員に貢献しているか目を光らせます。
2. 会員の声の反映－代議員制のデメリットとして、多くの会員の声が届きにくいことがあります。病院勤務だから肌感覚で分かる現場の意見を聞き、府士会理事としての経験を活かしながら、協会に声を届けます。

理学療法士の明るい未来のために尽力していきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成11年～14年度	(社)大阪府理学療法士会 理事(事務局・社会局担当)
平成19年～20年度	(社)大阪府理学療法士会 理事(ブロック局担当)
平成21年～26年度	(公社)大阪府理学療法士会 社会局長・理事
平成27年～30年度	(公社)大阪府理学療法士会 会長
令和元年度～現在に至る	(公社)大阪府理学療法士会 監事
平成21年度～現在に至る	(公社)日本理学療法士協会 代議員
令和4年度～現在に至る	(公社)日本理学療法士協会

学校保健・特別支援教育理学療法部会 部会員

私は、およそ30数年大阪府理学療法士会の活動に参加させていただきました。その中で、事務管理の行う事務局担当事業や対外的な事業に主眼をおいた社会局長、会長を経て、現在は監事をお受けしております。こういう活動を通して理学療法士と社会という観点から多くのことを学んだと日々感じております。理学療法士の分野は今でも社会の中で必要な職種ではありますが、過去には一般感覚とのずれを感じることも多くありました。我々にとって大切な臨床家の価値観だけでなく、行政・他団体との関係づくり、政治的な活動や業務マネジメントなど社会的な対応が求められている業界であります。

このように社会や行政などの関係性が深まる中、今まで以上に日本理学療法士協会には、理学療法士業界の羅針盤として活躍していただかなくてはなりません。診療報酬改定の対策や理学療法士の地位向上に努めるとともに、13万人を超える会員数を誇る協会の役割がより大きくなっていることはいまでもなく、それに応える組織運営の課題は大きくなると考えております。この協会へ大阪府士会の方々の思いを伝える大阪府士会選出の代議員の役割もまたより重要となっております。

そこでこの度、私はさまざまな経験を生かして理学療法士の発展に寄与すべく、協会代議員選挙に立候補いたしました。何卒、多くの皆様方のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



氏名 米田 浩久

都道府県士会 大阪府

年齢 57

勤務先名称 関西医療大学保健医療学部



氏名 鈴木 俊明

都道府県士会 大阪府

年齢 61

勤務先名称 関西医療大学保健医療学部

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会（以下、協会という）代議員選挙に立候補させて頂きました。関西医療大学の米田浩久でございます。新たに開始された生涯学習制度は、早や3年度目を迎えようとしております。協会は理学療法士という専門職の質を保証するために「ジェネラリスト」の育成を行うこととして、5年度ごとの更新制を導入して制度を実施しています。私自身、熊取町理学療法士会の会長として、当会会員に向けた生涯学習システムの各種講習会を企画し、参加を募っていますが、COVID-19の5類感染症移行後も、講習会の参加は依然としてオンライン参加が多い状況が続いています。特に、実技を主体とする講習会では、講義内容をいかに分かりやすく、いかに正確に参加者にお伝えするのかについて大変苦心しています。言うまでもなく、理学療法士は医療専門職であり、その治療技術はやはり対面でこそ学び取れるのではないかと考えます。単にポイントを積み重ねることが目的となっている状況もたびたび経験しており、果たして協会員が真の意味での「ジェネラリスト」、さらには「スペシャリスト」になる日が来るのか、疑問に感じる機会が増えています。協会は本年1月に生涯学習制度に関するアンケートを実施していますが、生涯学習制度について現在どのような問題を把握しており、今後どのような方向性を打ち出していくのかについて、協会に対して明確な方針と具体的な対応を求めていくことが必要と考えております。一方、協会は昨年3月に国民への普及啓発として、「理学療法が支える未来2030」を刊行しました。この中で協会が謳う3つの社会実現の何れもが地域包括ケアシステムを見据えたものであると思われま。私自身、地域の健康づくりや予防活動の最前線で活動しており、地域の方の理学療法への関心の高さと同様に理学療法士の必要性を訴える声をこれまで以上に聞きしています。こうした市民の声を協会に届け、協会がどのように応えていくのか、引き続き強く訴えていきたいと思っております。何卒、宜しくお願い申し上げます。

平成25年6月 (公社)大阪府理学療法士会 ブロック局 ブロック推進部 部長
 平成27年6月～令和元年6月 (公社)大阪府理学療法士会 理事
 平成31年4月 熊取町理学療法士会 会長 現在に至る

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会役員歴
 平成11年4月～平成16年3月 (社)日本理学療法士協会 調査部部長
 平成25年12月～令和3年3月 日本理学療法士協会 日本基礎理学療法学会 運営幹事
 平成27年～現在 (公社)日本理学療法士協会 代議員
 平成12年4月～平成23年5月 大阪府理学療法士協会 泉州ブロック ブロック長
 平成25年8月～平成29年6月 大阪府理学療法士協会 泉州ブロック ブロック長
 平成29年6月～令和3年5月 (公社)大阪府理学療法士会 副会長
 平成29年6月～令和5年5月 (公社)大阪府理学療法士会 理事
 令和3年6月～令和3年9月 (一社)日本基礎理学療法学会 評議員
 令和3年10月～現在 (一社)日本基礎理学療法学会 理事
 令和5年6月～現在 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事

立候補の趣旨
 平成27年度から、(公社)日本理学療法士協会 代議員として活動させていただいております。この度、引き続き代議員として立候補させていただきたく存じます。私は現在、(一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター及び(一社)日本基礎理学療法学会の理事として会員の学術面の向上を目標として関与させていただいております。そのため、今後も理学療法士に必要な学術面での課題を代議員として協会に働きかけます。皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。



氏名 三原 修

都道府県士会 大阪府

年齢 64

勤務先名称 りんくう永山病院



氏名 岩見 大輔

都道府県士会 大阪府

年齢 48

勤務先名称 永山病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

大阪府理学療法士会役員履歴
 厚生部長 平成3年4月～平成5年4月
 ブロック局担当理事 平成17年6月～平成19年5月
 ブロック局長 平成19年5月～平成29年6月
 監事 平成29年6月～現在に至る

日本理学療法士協会役員履歴
 日本理学療法士協会代議員 平成19年～令和4年

立候補趣旨

今回は私の力不足で残念な結果になりましたことお詫び申し上げます。
 再度代議員へ挑戦させていただきます。
 大阪府理学療法士会において10年間理事の役職を拝命し、平成29年度より監事として、今までの経験を活かして、府士会活動に携わっております。
 大阪府理学療法士会は、組織改編を行い先駆的に区市町村士会を設立し、現在はその活動を充実させるべく努力いたしております。私は前身のブロック制度確立時に担当理事となり、活動を広げてまいりました。
 今回においてもこの経験を活かし日本理学療法士協会における、中央と地方との役割分担を明確にし、全国の活動の強化に繋がればと考えています。
 若い会員が増加する中、協会に所属しない方や協会からの退会者の増加は、喫緊の問題だと感じています。協会活動に興味を持ち理解を示し所属、参加していただけるように活動して参ります。
 公益社団法人大阪府理学療法士会の代表として、より一層協会運営に協力させて頂く所存であります。皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成28年4月～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
 平成27年6月～平成29年6月 公益社団法人大阪府理学療法士会 新人教育部 部長
 平成29年6月～平成31年5月 公益社団法人大阪府理学療法士会 理事
 令和元年6月～令和3年6月 公益社団法人大阪府理学療法士会 事務局長
 令和3年6月～現在 公益社団法人大阪府理学療法士会 副会長兼事務局長

私は平成29年度より公益社団法人 大阪府理学療法士会（以下、府士会） 事務局担当理事として、また、令和元年度より事務局長、令和3年度より副会長兼事務局長として府士会の運営に携わっております。府士会と市区町村理学療法士会、（一社）大阪府理学療法士会生涯学習センターと協力しながら組織力強化と我々府士会が地域社会の期待に応えられる職能団体になるよう尽力いたします。
 また、府士会の在会会員数は8000名を超えて東京都に次いで2番目に大きな組織となりました。毎年700名程度の新入会の会員を迎え、事務局として会員の皆様と日本理学療法士協会の橋渡しの一役を担うべく代議員に立候補いたします。
 会員の皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。



氏名 千葉 一雄

都道府県士会 大阪府

年齢 68

勤務先名称 森ノ宮医療大学



氏名 熊崎 大輔

都道府県士会 大阪府

年齢 48

勤務先名称 関西医療学園専門学校

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】

1. 公社) 日本理学療法士協会 代議員12年(2011～)
2. 一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事長4年(2018～)
3. 公社) 大阪府理学療法士会 常務理事 (7年間) 2011～

【立候補趣旨】

- この度代議員としての議決権ならびに質問事項を以下に列挙し、協会の改善を図る

 1. ・組織率の対策問題の見直し要求を行う
 2. ・無駄な経費削減の監視と夫婦会員の会費減額を要求する
 3. ・知識、技術力の格差拡大が生じているが、対応策を要求する
 4. ・女性活躍が進んでいない状況の対応策を要求する

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- | | | |
|-----------|----------------|-------------------|
| 平成21～22年度 | (社) 日本理学療法士協会 | 特定健診・特定保健指導特別委員会 |
| 平成24年度 | (公社) 日本理学療法士協会 | 管理者ネットワーク構築事業 |
| 平成25～26年度 | (公社) 日本理学療法士協会 | 組織率向上検討特別委員会 |
| 平成27～31年度 | (公社) 日本理学療法士協会 | 倫理担当者 |
| 平成28年度 | (公社) 日本理学療法士協会 | 組織・規則検証等ワーキンググループ |
| 令和2～4年 | (公社) 日本理学療法士協会 | 新組織検討委員会 |
| 令和5年～ | (公社) 日本理学療法士協会 | 役員報酬等委員会 |
| 平成22年～ | (公社) 日本理学療法士協会 | 代議員 |

- | | | |
|-----------|----------------|---------|
| 平成21～22年度 | (社) 大阪府理学療法士会 | 事務局担当理事 |
| 平成23～30年度 | (公社) 大阪府理学療法士会 | 事務局長 |
| 平成31年度～ | (公社) 大阪府理学療法士会 | 会長 |

私はこれまで日本理学療法士協会(以下 協会)の代議員を13年間、各種委員会等の委員を務めさせていただきました。大阪府理学療法士会(以下 府士会)では理事を14年間務めており、現在は会長を拝命しております。大阪府士会は全国の都道府県士会の中でも会員数の多い士会です。大阪府の会員の意見を協会に届けるために代議員に立候補致しました。精一杯頑張りますので、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 本田 憲胤

都道府県士会 大阪府

年齢 47

勤務先名称 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院



氏名 西川 篤史

都道府県士会 大阪府

年齢 41

勤務先名称 野崎徳洲会病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【府士会活動歴】
広報部部員（2005年～2006年）、南河内ブロック学術部部長（2009年～2012年）、生涯学習センター学術大会部部長（2017年4月～現在に至る）、北区理学療法士会理事・副会長（2019年～現在に至る）、第35回大阪府理学療法学術大会会長（2023年）、生涯学習センター教育局長（2023年8月～現在に至る）。

【立候補の趣旨】
私は大阪府在住の理学療法士として、20年以上にわたり地域の医療と福祉に貢献してきました。この度、日本理学療法士協会の代議員選挙への立候補を決意いたしました。長年にわたる実践と経験をもって、さらなる理学療法士の発展と社会参加の促進に努めるために、皆様のご支援をお願い申し上げます。私は大阪府理学療法士会生涯学習センターで部長および局長を務める中で、多様な学びと学びへのアクセスの重要性を痛感してまいりました。現代の社会では、時代の変化や技術の進歩に追いつくためには、常に新しい知識やスキルを習得し、自己を継続的に成長させることが必要不可欠です。私は、理学療法士の職域と専門性を高めるために、学びの機会を広げ、全ての理学療法士が最新の情報や技術にアクセスしやすい環境を整備することを目指します。また、理学療法士として患者や対象者の社会参加が当たり前となる、共生社会の実現にも力を注ぎたいと考えます。障がいや疾患を持つ方々が社会の一員として自立し、自分の力を最大限に活かせるよう、支援やサービスの提供を強化してまいります。共生社会の実現に向けては、地域社会との連携や包括的なアプローチが不可欠であり、私はその実現に向けて努力いたします。最後に、この立候補が理学療法士の地位向上や地域社会の発展に貢献することを心より願っております。皆様のご支援と信頼を得られれば、共により良い未来を築くために努力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

日本理学療法士協会 大阪府代議員（2019～）
大阪府理学療法士会 東支部代議員（2018～）
大阪府理学療法士会 組織部部員
大阪府理学療法士会 組織部副部長（2023～）
第30回大阪府理学療法士会学術大会 会場部部員
北河内ブロック介護技術講習会 代表（2014～2018）
第34回大阪府理学療法学術大会 準備委員長

この度、代議員に立候補させていただきました、医療法人徳洲会野崎徳洲会病院の西川篤史と申します。急性期病院の所属ではありますが、関連施設に於いて訪問・通所系サービスに携わった経験もあります。また、大東四條畷におけるリハ職種の連絡会にも協力することで、多職種を繋ぐネットワークづくりにも参加しております。士会事業としては、組織部にて各市区町村士会の充実のために活動しております。コロナ禍では、重症コロナセンターでのリハに関わる事で、新たな疾患へのリハの必要性や可能性を見出すことも出来ました。総合事業への関りも継続しており、地域の現状などを知る機会も引き続き作るように努力しております。急性期での集中的なりハと地域リハという二つの現場と協会を繋ぎ、地域包括ケアシステムの強化を進めていくためにも、代議員に立候補いたしました。急性期や在宅における現場の声を集約し協会に伝えていく事、協会からの動きを会員の皆様へ伝える事に尽力したいと考えております。宜しくお願い致します。



氏名 射場 一寛

都道府県士会 大阪府

年齢 53

勤務先名称 清恵会第二医療専門学院



氏名 加納 一則

都道府県士会 大阪府

年齢 54

勤務先名称 市立吹田市民病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

府士会での活動
 2019年～ 堺市理学療法士会 理事
 センターでの活動
 2019年～2021年 理事(生涯学習局担当)
 2021年～2023年 理事(教育局担当)
 2023年～ 副理事長
 協会での活動
 2022年～2024年 指定規則等検討部会(カリキュラム検討作業部会)

この度、協会代議員に立候補しました射場一寛でございます。
 理学療法士の質の向上として、2022年度から新生涯学習制度が始まり、基盤となる「登録理学療法士」の称号ができました。取得するためには5年が必要です。
 また、協会の課題の1つとして、「会員の組織率」があります。入会率が低迷し、加えて休会・退会者が後を絶ちません。要因の1つとして「会員としてのメリットがない」と聞きます。特に入会して5年前後が退会するかどうかの分岐点のようです。
 つまり、入会してからの5年は、登録理学療法士を取得するか、退会するかを決定する大事な期間であると言えるのではないでしょうか？
 生涯学習制度における「登録理学療法士」、「認定理学療法士」、「専門理学療法士」は商標登録まで完了しています。しかし、それがゴールではありません。登録理学療法士認定理学療法士、専門理学療法士として、目の前の対象者に対し、より質の高い理学療法を提供し、国民の皆様にも認知していただくことだと考えます。そうすることで、理学療法士としての存在価値を見出せると同時に会員としてのメリットにもつながるのではないでしょうか。
 生涯学習制度がより良い制度へ改善できるように、府士会員の皆様からいただいた声を協会へ届けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】
 平成12年度～平成15年度 (公社)大阪府理学療法士会 臨床実習部 部員
 平成16年度～平成21年度 (公社)大阪府理学療法士会 臨床実習部 部長
 平成30年度 第30回大阪府理学療法学会 準備委員長
 令和元年度～ (公社)大阪府理学療法士会 事務局担当理事
 令和2年度～ (公社)日本理学療法士協会 代議員

【立候補の趣旨】
 現在、(公社)大阪府理学療法士会(府士会)の理事を拝命し、5年間活動するとともに、協会代議員も2期4年間活動してまいりました。その中で、府士会は全国有数の会員数を誇り、全国に先駆けて、市区町村士会の設立を進め実現いたしました。市区町村士会、府士会、そして協会という繋がりの中で活動している府士会員の皆様と中央(協会)との橋渡し役となり、会員の帰属意識の向上、については協会組織率低下の防止に寄与しながら、府士会員、府民のため、代議員としての役割を引き続き果たしていく所存です。



氏名 西村 卓也

都道府県士会 大阪府

年齢 41

勤務先名称 泉佐野優人会病院



氏名 都留 貴志

都道府県士会 大阪府

年齢 40

勤務先名称 市立吹田市民病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

皆さま、はじめまして。
私は理学療法士となって、21年目となりますが、協会活動について、間接的なお手伝いや協力依頼を受けた際は尽力して参りましたが、主だって協会活動に携わることなく過ごして参りました。

協会活動は協会誌や協会のホームページから情報を得て、動向を見つめ、今後、自分たちがどのような立場でどのように働いていけるのかを考えていました。

今、日本は少子高齢化、人口減少が進み、また物価は上昇するも医療業界は天井が決まり、自分たちの賃金上昇が高く期待できない状態となっており、療法士にとってあまり明るい時代ではないように感じています。

ただ、その中でも、自分たち理学療法士だからこそできる対象者へのアプローチ、対象者との関わり、期待されているものがあり、この仕事の重要性、楽しさをもっと社会に広めていけたらと思っています。

微力ではありますが、皆さまのお力になれることがあれば、努めたいと考えております。
よろしく願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 2009年～2010年 (公社) 大阪府理学療法士会 障害者保健福祉部 部員
- 2015年～2017年 豊能ブロック新人症例発表会運営委員
- 2017年～2018年 (公社) 大阪府理学療法士会 調査資料部 副部長
- 2018年～2023年 (公社) 大阪府理学療法士会 北支部 代議員
- 2018年～2020年 (一社) 吹田市理学療法士会 施設交流部 部長
- 2020年～2021年 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター
臨床実習教育部 部員
- 2020年 第32回大阪府理学療法学会 準備委員長
- 2021年～現在 (一社) 吹田市理学療法士会 会員管理部 部長
- 2021年～2023年 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター
臨床実習教育部 部長
- 2023年～現在 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 教育局担当理事

この度、日本理学療法士協会の代議員にはじめて立候補します都留貴志と申します。
私は、府士会および生涯学習センターでの活動を約10年務めさせていただきました。その中でも、大阪学会の準備委員長や臨床実習教育部の部長を歴任し、現在は生涯学習センターで教育局の担当理事を拝命しております。学術事業に特化した組織である生涯学習センターの中で、会員の皆様が生涯にわたって学び続けることを支援する関わりができるよう日々尽力しております。生涯学習に関する問題や現場における課題や苦勞など府士会員の皆様の声を協会に届ける役割を果たしたいと考え、代議員に立候補させていただきました。大阪の代表という自覚と責任を持って務めさせていただきます。



氏名 中村 昌司

都道府県士会 大阪府

年齢 56

勤務先名称 葛城病院



氏名 米元 佑太

都道府県士会 大阪府

年齢 35

勤務先名称 える訪問看護ステーション門真

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

士会役員歴	
平成23年～平成24年	(公社) 大阪府理学療法士会 事務局担当理事
平成25年～平成28年	(公社) 大阪府理学療法士会 保健福祉局長
平成29年～	(公社) 大阪府理学療法士会 副会長

協会役員歴	
平成26年～	(公社) 日本理学療法士協会代議員

私は、府士会事務局担当理事として2年、保健福祉局長として4年間、平成29年からは副会長として、また令和元年からは地域包括ケア推進委員会の委員長として府士会の運営に従事して参りました。

中でも、府域地域包括ケアシステムの構築においては、各市町村行政と連携し、理学療法士の活躍の場を広げ、職域を拡大することに貢献してきたと自負しております。しかしながら、活躍の場は拡大されてもここ数年は多くの会員が休会、退会している現状に危機感を抱いております。

理学療法士の未来のためにもこれまで以上に協会と士会が連携し、会費の減額、組織内の関係の質の向上、最低限の処遇整備等に取り組み、会員の皆様にとって、魅力のある協会、士会組織となるよう代議員として尽力したいと思い立候補させていただきました。何卒ご支援よろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】		
日本理学療法士協会	代議員	(2020～)
大阪府理学療法士会	職能局担当理事	(2021～2023)
東大阪市理学療法士会	副会長・企画部長	(2019～2023)
大阪府理学療法士会	医療・介護保険部員	(2019～2021)
大阪府理学療法士会	代議員	(2018～2021)

【立候補の趣旨】
代議員選挙に立候補した米元佑太です。2020年から協会代議員を務めています。今回も大阪府理学療法士会の皆さまのご意見を協会へ届けるために立候補しました。私は過去の総会で、代議員として協会に対して複数回の質問を行いました。また、随時協会への問い合わせを行い、皆様から頂いた意見をお伝えしています。

ですが、これだけでは皆さんの意見や思いを協会運営に反映することができません。これまでの代議員の経験から、当選後に以下を実施しようと考えています。ご賛同いただける方は、ぜひ私に投票してください。よろしくお願ひします。

◎代議員のネットワークづくり
法人運営にかかわる法律や、会計知識の向上を目的とした代議員のネットワーク構築を行います。参加者は大阪府内の代議員に限定せず、全国の代議員から募ります。

◎代議員のネットワークを活かした総会への議案提出(予定)
総会は理事会が準備した議案のみを採決する場ではありません。一定数の代議員が協力することで、総会へ議案を提出することができます(一般法人法 第43条)。総会で検討すべき議案があれば、ネットワークに参加している代議員が連名で提出します。



氏名 米谷 元希

都道府県士会 大阪府

年齢 49

勤務先名称 ㈱米谷暮らし研究所



氏名 守安 久尚

都道府県士会 大阪府

年齢 55

勤務先名称 大阪晴愛病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

大阪府理学療法士会地域包括推進委員
私たちは無力ではありません。
火はまだ燃えているのです。
私たちの声を使い、理学療法士のために素晴らしい未来を成し遂げましょう。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成26年4月～令和3年3月 日本理学療法士協会 代議員
平成23年～泉州ブロック ブロック長
平成25年～大阪府理学療法士会 理事 保健福祉局担当
平成27年～大阪府理学療法士会 理事 保健福祉局担当
平成29年～大阪府理学療法士会 理事 保健福祉局長
令和1年～大阪府理学療法士会 理事 職能局局长
令和3年～現在 大阪府理学療法士会 理事 副会長兼職能局局长

私が代議員に立候補させていただいたのは、現在大阪府理学療法士会 職能局長をさせていただく中で、理学療法士の増加・報酬等を考えると、今後早急に理学療法士の職域を拡大する必要が不可欠と思います。そのためには、協会との協力や政策企画などで大阪の実情を踏まえしっかりと意見していくことが重要と考えます。また、地域包括ケアシステムでの予防領域での活動の中でも、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施等は、協会が中心に各都道府県とも協力して行う事も重要と考えます。大阪の会員の意見をできる限りを協会へ届けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 浜田 仙子

都道府県士会 大阪府

年齢 46

勤務先名称 大阪晴愛病院



氏名 杉本 明文

都道府県士会 大阪府

年齢 47

勤務先名称 藍野大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成23・24年度 大阪府理学療法士会 高齢者保健福祉部 部員
 平成23年～29年度 大阪府理学療法士会泉州ブロック保健福祉部 副部長
 平成30年度 大阪府理学療法士会泉州ブロック保健福祉部 部長
 平成31年度～現在 泉南市理学療法士会 副会長
 令和元年～4年度 大阪府理学療法士会 代議員
 令和5年度～現在 大阪府理学療法士会 理事 事務局担当

私は、今まで大阪府理学療法士会の様々な事業運営にかかわってまいりました。また、大阪府理学療法士会の代議員としても、地域で働く理学療法士の思いや意見を反映できるように努めておりましたが、令和5年度より大阪府理学療法士会の理事として組織運営に関わっております。この度、立候補させていただいたのも、微力ではございますが、協会を中心に各都道府県と協力して職能団体として発展させたいという思いと、大阪府の会員の意見を届けるためのお手伝いができればと思い立候補させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2009～2010 ニュース編集部 副部長
 2011～2018 ニュース編集部 部長
 2019～現在 (公社)大阪府理学療法士会 事務局担当理事
 2020～2022 (公社)日本理学療法士協会 代議員

この度、日本理学療法士協会の代議員に立候補させていただきました杉本明文と申します。私は大阪府理学療法士会のニュース編集部長として8年、そして、2019年からは皆様のご支援をいただき大阪府理学療法士会の理事として、また2020年より1期間、日本理学療法士協会の代議員として運営に携わっております。大阪府理学療法士会に限らず、協会全体として休会者や退会者が増えており、組織率や入会率の問題が取り出されることがあります。この原因の一つとして生涯学習システムの複雑化や、分科会の法人化に伴う情報量の増加が関係していると考えられます。このような情報を正しく理解できる形にととのえ、提供することが私の最も重要な役割だと考えています。協会の運営や意思決定プロセスを透明かつ理解しやすくすることで、会員の皆様が協会に対してより関心を持ち、参加意欲が高まります。透明性を重視し、会員の皆様の声を受け入れ、協会全体の健全な成長に尽力します。これらの取り組みを通じて、協会がより活気づき、理学療法士の役割が社会でより評価される未来に向けて共に努力したいと思います。どうか、皆様のお力を貸してください。投票をどうぞよろしくお願い申し上げます。